

「エコチル調査への参加者が20,000人を突破しました！」

「エコチル調査1周年記念シンポジウムを開催します！」

「女優の千堂あきほさんから応援メッセージが届きました！」

〈目次〉

1. 今月のコラム
2. サポーター代表からのメッセージ
3. おしえて、エコチル先生！
4. ユニットセンターだより
5. エコチル調査からのお知らせ



1. 今月のコラム



こんにちは！今年もあとわずかですね。
本格的な冬のスポーツの季節になりました。私は南国育ちなので、子どもの頃からスキーを一度やってみたい、と思っていました。それで数年前、職場の冬期研究会を新潟県で開催した時、初めてスキーにトライしたのです。そのスピード感にしばれてしまい、バッタバッタと転びながらも何回も滑りました。何度目かに転んだ際、ジャリッと口の中で音がしたので「砂」が口に入った、と思ったのです。その後物を食べるたびに歯がキリリと痛むので、舌で触ってみたら…歯が欠けていました。皆さんも、新しいことにトライするときは気を付けてくださいね。でももしチャンスがあればまたスキーをやりたいと思う、こりない私です。

戸高恵美子（千葉大学准教授）



2. サポーター代表からのメッセージ



お子さんをエコチル調査の協力医療機関でお産みになった、女優の千堂あきほさんから、応援メッセージが届きました！

私は長女も次女もエコチル調査の協力医療機関で出産しました。環境が子どもの成長にどう関わっているのか、とても気になるし、知りたいです。子どもだけではなく、きっと私たち親にとっても、生活を見直すきっかけになると思うので、沢山の方に知っていただき、よりよい結果がでる事を願います。

千堂あきほ

千堂あきほさんの最新情報はこちら
<http://www.sakinaya.com/akiho.htm>



3. おしえて、エコチル先生！



◎ 今回は最近の妊婦さんの「やせ」の問題について、千葉大学医学部附属病院 周産期母性科診療教授の長田久夫（おさだ・ひさお）先生にお話を伺いました。

— 最近、低体重で生まれる赤ちゃんが増えている、とのことですが。

妊娠週数にかかわらず出生時体重が2500グラム未満の赤ちゃんを「低出生体重児」といいますが、この低出生体重児の割合が、2002年では女の赤ちゃんの10%を占めています。この割合は世界的に高レベルであり、先進国間では日本が突出しています。経済的に豊かになり食糧が豊富なのにやせている女性が増え、赤ちゃんも小さくなっているのです。

— 若いころはやせているほうがきれいに見えるし、友達同士できそってダイエットしたりしますよね。

妊娠すると当然、お腹の中の赤ちゃんが育つための栄養が必要になります。最近の調査では、妊娠しても妊娠していない時と同じカロリーしか取っていないお母さんも多いのです。

— どうすれば赤ちゃんの低体重を防ぐことができますか。

子どもの頃から、朝、昼、晩、野菜、肉、魚などさまざまな食物をバランスよく規則的に食べる習慣をつけておかなければなりません。最近、女性のカルシウム不足が深刻だと感じています。『いざとなったらサプリメントで補えばいい』と安易に考えないことが大切です。

☆☆ このほかにも妊婦さんに役立つお話満載、☆☆
☆☆ インタビュー全文はホームページをご覧ください。☆☆
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/supporter/column/column06.pdf>

★

4. ユニットセンターだより

★

「京都ユニットセンター、愛知ユニットセンターから
メッセージが届きました！」

京都ユニットセンター <http://www.ecochi1-kyoto.jp/>

京都は「いにしへの都」と言われます。たしかに、木津川には天平のころに恭仁京(くにのみやこ)、京都には平安京、長浜には豊臣秀吉が居城を築き、歴史や伝統のある都市です。

しかし、アバンギャルドで景観を損ねると言われた京都駅舎もすでに風景として溶け込んでいるように、常にaliveであり、新しいものをどん欲に取り込みながら進化し続けているのが、京都という都市の魅力だと思います。

京都ユニットセンターのキャラクターもそれにふさわしく、お茶目な現代っ子の「うさ美」、100年先の地球から来たロボットの「うさP」、平安時代からタイムスリップして来た「うさ麻呂」、そして砂研究の助っ人として大陸の砂漠からやってきた「コ・ウサ」と多彩な展開です。研究の遂行や、京滋のエコチル・キッズを温かく見守ってくれることでしょう。

(京都ユニットセンター 佐藤恵子)

愛知ユニットセンター <http://ecoaichi.com/>

愛知ユニットセンターの調査地区は、一宮市と名古屋市北区の2地区です。どちらも住民の定住性の高いところは似ていますが、街の雰囲気は全く違ってきます。

前者は、繊維産業で栄えた町として中小企業が多く、住民同士の触れ合いや自治体の子育て支援活動が活発で、

